

令和2年度（上期） 指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課： 都市活力 部 産業振興 室 文化振興 課

1. 基本情報

1005

施設名	伊丹市立伊丹郷町館		
施設の設置目的	市民の共有する文化財を公開するとともに、歴史、文化に関する事業を推進することにより、市民の教養の向上並びに文化の発展を図る。		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標： にぎわいと活力にあふれるまち 施策目標： 個性とにぎわいあるまちづくり 主要施策： 芸術文化のまちづくり		
指定管理者の名称	公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団 (団体の住所又は所在地) 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号伊丹市立文化会館（東リ いたみホール）内		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 31 年 4 月 1 日 ～ 令和 4 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営の指定管理者の具体的目標)	指標名	来館者数 (単位： 人)	
	指標の意味	年間の来館者数	
	今年度の目標値	20,000	上期の実績値 7,830

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H28	H29	H30	R元	R2 (上期)	R2 (通期)
	来館者数 (人)	32,043	47,500	78,226	65,499	46,670	7,830	
	貸し室稼働率 (%)	17	14	24	17	12	8	
	延べ事業開催回数(回)	0	10	20	25	19	3	
	延べ事業参加者数(人)	0	6,299	15,632	9,411	6,559	40	

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3. 経費情報

<単位:千円>

	区分		平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)	令和2年度 (2020) 計画	令和2年度 (2020) 実績 (上期)	
指定管理者の収支	収入	使用料収入	488	313	162	165	
		事業収入	11	32	0	6	
		その他	0	0	0	0	
		指定管理委託料	21,789	17,844	15,063	9,653	
		①合計	22,288	18,189	15,225	9,824	
	支出	維持管理	光熱水費	2,213	2,323	1,983	969
			清掃等委託料	6,801	7,161	4,352	2,745
			土地建物賃料	0	0	0	0
			修繕料	125	123	135	69
		運営	人件費	12,434	8,507	8,395	3,775
			事業等経費	0	0	0	0
			その他	488	367	360	69
			指定管理納付金	0	0	0	0
		②合計		22,061	18,481	15,225	7,627
		純収支 (①－②)		227	△ 292	0	2,197

施設の管理運営に係る実質経費 (市の負担) ※		H27	H28	H29	H30	R元	R2 (上期)
<単位:千円>	市の収入	0	0	0	0	0	0
	(内、使用料収入)	0	0	0	0	0	0
	市の支出	21,162	20,609	15,525	26,645	18,423	9,653
	(内、指定管理委託料)	21,162	17,382	15,525	21,789	17,844	9,653
	実質経費 (歳出-歳入)	21,162	20,609	15,525	26,645	18,423	9,653

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目		(具体的内容)	評価結果			
			指定管理者自己評価		施設担当課評価	
			評価	特記事項	評価	担当課所見
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	A	臨時休館中でも委託業務の業務水準が下がらないよう、随時点検を実施したほか、定期的に施設内の消毒を行うなど感染症対策にも取り組んだ。	A	清掃業者による定期的な清掃に加え、職員による確認も行い、館内は清潔に保たれている。また職員・スタッフによるこまめな消毒作業によりコロナの感染予防対策もなされている。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	B		B	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	臨時休館中は、感染症対策として在宅勤務を取り入れ出勤者数を調整したほか、休憩時間もずらすなどして、事務所が密にならないよう配慮した。	B	職員配置は適切にされている。コロナ禍での臨時休館中は出勤者数の調整も適切であった。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B		B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B	
	防災・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	非常時に迅速に対応できるよう、連絡体制を整備している。	B	みやのま文化の郷内で、コロナなど緊急時の行動確認を行い、連絡体制も整っている。
		避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	アンケートを随時実施し、寄せられた意見・要望に対して迅速な対応を行っている。職員はもちろんのこと、委託業者にもサービスの向上に努めるよう指導している。	B	コロナ禍での少ない開館日数の中、アンケート回収されているが、今後は他の手法でも意見収集可能となる取組を検討されたい。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	A		A	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		B	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	B	開館後の企画事業については、感染症対策を講じ、時期・内容を調整して実施。また、動画のWEB配信事業を実施。	B	コロナ禍で企画事業の動画配信も行い、効果的な事業展開がなされた。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	A		A	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	個人情報保護方針を順守し運用している。また、逐次、ホームページやSNS等に開館状況や感染症対策について掲載し、周知に努めた。	B	コロナ禍での来館者に対する個人情報を取扱う業務が増えたが、貸館と同じく厳格に行われている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	A		B	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	A	臨時休館があったものの収入は当初の見込みより微増となっている。支出についても適切に執行している。	A	臨時休館したが、貸館収入が計画値を上回った。会計処理も適切になされている。
		経理処理は、適切に行っているか。	B		B	

「評価」欄の記号の意味

「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「ー」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	みやのま文化の郷再整備事業による休館に入る前に、コロナ禍での臨時休館となり、来館者数は激減したが、貸館収入は計画値を達成した。再開までの休館中、施設管理は特に文化財建造物のため、適時・適切な日常管理を継続していただきたい。また、再開に向け、魅力ある文化財の活用を検討していただきたい。
総合評価	
B	

「総合評価」欄の記号の意味

「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。

「B」＝取組状況の水準が普通である。

「A」＝良好である又は成果があった。

「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】令和2年5月26日～令和2年8月30日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り		
回答者数	・難しい状況下での公演開催が有難い。 ・リニューアル後は是非また観に来たい。 ・公演会場が特殊でムードがとても合っていた。	・今後も文化財の保存と活用を図り、期待に応えていく。
262		

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置